

令和6年9月13日

## 令和6年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人郷学舎  
アルスコンピュータ専門学校  
学校関係者評価委員会

自己点検評価委員会が作成した令和5年度自己点検・評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を実施しました。令和6年度学校関係者評価委員会について、下記のとおり報告します。

### 記

1. 開催日時

令和6年8月28日（水） 14：30～16：20

2. 場所

アルスコンピュータ専門学校 101教室

3. 学校関係者評価委員

**【関連業界関係者】**

① 大久保 和政 氏（熊谷商工会議所 会頭）

※ 大久保氏は当日欠席のため、別途ヒアリングを実施

② 大島 匡 氏（医療法人くぼじまクリニック 事務長）

③ 中尾 洋道 氏（株式会社明幸フォーラム 代表取締役）

④ 朱 力敏 氏（ソホビービー株式会社 代表取締役）

**【教育関係者】**

⑤ 中村 克彦 氏（元深谷市教育委員会 教育長）

**【地域代表】**

⑥ 和田 広之 氏（一般社団法人さいしんコラボ産学官 連携担当部長）

**【保護者代表】**

⑦ 北堀 美佳 氏（在校生保護者）

**【卒業生代表】**

⑧ 隅田 和利 氏（第5期卒業生）

### 【事務局（学校側）】

- ① 新井 公一 （学校法人郷学舎 理事長）
- ② 荻野 欣男 （アルスコンピュータ専門学校 校長）
- ③ 正田 淳一 （ 〃 副校長）
- ④ 長瀬 あゆみ （ 〃 教務部課長 情報ビジネス科学科長）
- ⑤ 吉橋 大樹 （ 〃 教務部主任 情報システム科学科長）
- ⑥ 小関 士朗 （ 〃 教務部主任 AI システム科学科長）
- ⑦ 籠原 智恵 （ 〃 教務部専任次長 国際 IT ビジネス科学科長）
- ⑧ 戸川 千詠子 （ 〃 教務部特務）
- ⑨ 田口 紀子 （ 〃 総務部主任）

### 4. 学校関係者評価委員会 次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 理事長挨拶
4. 校長挨拶
5. 委員長の選出
6. 協議【中村委員長により議事の進行が行われた】
  - ①学校関係者評価委員会について
  - ②学校運営の PDCA サイクルについて
  - ③学校概要と近況報告
  - ④令和5年度自己点検評価について
  - ⑤令和5年度重点目標の達成状況報告
  - ⑥令和5年度自己点検評価結果の報告
  - ⑦令和6年度重点目標について
  - ⑧意見聴取
  - ⑨その他
7. 閉会

## 5. 学校関係者評価委員会報告

～各項目に関する学校関係者評価委員の評価・意見～

### 重点目標①について

- 成長を感じられる学校づくりについて、学年委員会や行事委員の立ち上げ、オープンキャンパスのスタッフなど、学生主体として取り組まれています。学生の採用においても、コミュニケーション能力をととても重視しているところがあるので、専門学校でもそのような所を重視して取り組まれていることは、企業としてはとても助かっています。

### 重点目標②について

- 新型コロナウイルス感染症が5類へと移行されたことに伴い、学生の職場実習も通常通り再開されたところですが、世の中は大きく変わり、講演会などはリモートやウェブ開催となったり、在宅勤務などが当たり前となってきています。医療講演会など、そういったものが会場開催とウェブ開催を併用し、ハイブリッドという形でほとんど行われています。そのような中で、DXリテラシー教育の推進というのは、まさにアルスコンピュータ専門学校でなければならないというか、今後大きく期待されることだと思っております。
- DX化の推進について、IT関連の学生は問題ないと思うのですが、学校の先生方にもDX化の推進をすることができるのはすごくいい取り組みだと思えます。あと、キャンバといったツールは使ったことはないですが、採用担当の職員にも勉強してもらいたいと思いました。また、私共の営業活動でもパワーポイントを使ってこの様な綺麗なレイアウトで分かり易いものを作り上げることができれば、売り上げに直接通じるものなので、今日のお話を聞いて勉強になりました。

### 基準1. 教育理念・目的・育成人材像

- 特になし

### 基準2. 学校運営

- 通信制高校のサポート校について概要、取組、募集人員などについて差し支えない程度でご説明いただきたい。
- (学校側) 通信制高校サポート校の設置について概要説明を行なった。通信制高校のメリットは、みんなが同じ内容で学習するのではないため、多様な人材育成の一環になるのではないかと期待しております。
- ボランティア活動で積極的に参加しているのが幼児教育を受けている学

生達とありましたが、まだ学生はいらっしゃるのでしょうか。

- (学校側) 福祉保育科については、3月に最後の学生が卒業しましたので、今年度は在籍していません。

### 基準3. 教育活動

- 我々の医院では、現在電子カルテを導入する計画をしております。やはり透析管理システムやレセプトコンピューターなどの融合は非常に難しく、今まで手をこまねいておりましたが、ここで少し踏み込んで始めようと思っております。そこで先日、卒業生である事務員に、電子カルテを導入する旨の内容を伝えたところ、すごく嬉しいという感想が返ってきました。やはり、学校でそのような教育を受けてきた卒業生は、やる気と自信たっぷりの反応がありましたので、導入後、一生懸命やっていただきたいという期待を持っております。このようなことから、アルスコンピュータ専門学校での教育は非常に有用である思っております。
- 留学生も、積極的に学生委員会のメンバーの中に入る事で、実際に日本の社会での組織づくりやイベント運営にも積極的に参加できるチャンスを与えている中で、時には言葉の問題もあり、恥ずかしくて参加できない学生さんもいらっしゃると思います。しかし、このような取り組みを通じ日本語を使う場も増えますし、面接の際において経験を語ることができれば有用だと思えます。実際、昨年4月に1名、ベトナム出身の留学生に入社してもらい、今年は2名の日本人の卒業生が入社されています。その留学生は頭が良く苦労人で、様々な経験をされている印象があります。ただ、社内イベントで新卒社員にやってもらっていますが、留学生は不慣れなところがあるので、そこを補えることが出来れば、本人も自信がつくのではないかと思います。留学生のコミュニケーション能力についての取り組みをお聞かせください。
- (学校側) 留学生のコミュニケーション能力について、悪循環なのがアルバイト先で同じ国の人と黙って働き、アパートでも同じ国同士での生活を送っているケース。更に、学校でも同じ国同士の留学生で固まってしまう状況だと、日本語を学習する機会が極めて少なくなってしまう。コンビニエンスストア等のアルバイトでは日本語によるコミュニケーションが上達する傾向があるようです。
- (学校側) 各国の文化による違いもあるかもしれませんが、社交的な留学生ほど日本語が上達する傾向があります。逆に社交的でない留学生は、どうしても日本語の壁が高いようです。特に全員が留学生という環境の場合、どうしても母国語で喋ってしまうというところがありますので、今後はクラス内で日本語をもっと喋るように変えていくとか、他クラスの日本人学

生とコミュニケーションを取る機会を設けたりする事が今後の課題と思います。

- 企業連携については、企業とのコラボレーションによる AI システムの開発や、星川エリアの活性化に向けたデザインの活用などについて、非常に良い取組だと思います。参加した学生にとっても当然ですが、学校の魅力を向上させるために、有効な事ではないかと思っておりますので、就職率と合わせ学校の特色という意味でも是非、この企業とのコラボレーション活動に取り組んで行ってもらえたらというのが私の感想です。
- 子どもからはスキルを学べて、将来役立つことを教えてもらっていると聞いています。現在、職場実習に行かせていただいて、それもこちらの学校に通わせてもらっているからこそだと思います。これからもよろしく願います。
- きめ細かく教育に取り組んでいるようで、学生達もほぼ満足していると思います。それを支える先生方が大変積極的に研修などスキルアップに特に取り組んでいるお話があり、校内で色々な学習、研修の機会があるようにお聞きしました。更に外へ出てスキルをアップする機会というのがありましたらお聞かせいただきたいと思います。
- (学校側) 毎年8月と2月に、1日から3日程度の研修に参加をしています。学外の研修については3パターンあり、各分野の技術に関する研修、クラス運営に関する研修、学校運営に関する研修の3点を、各学科コースで担当の教員がバランスよく参加するようにしています。また、研修には技術研修や中堅教員研修など、経験に応じた様々な種類があり、年度初めに計画を立て、今年は誰がこの研修に参加するのが適切かなど確認したり、1年間終わったところで研修の実績をまとめ、翌年度に生かしていくというように計画的に行っております。職業実践専門課程でもその研修に参加することが義務付けられていますので学校のホームページにも情報公開しています。

#### 基準4. 学修成果

- 就職内定率も非常に良いということで、素晴らしいと思っております。
- 当社は久しぶりに今年4月に卒業生の方に入社していただき、頑張ってくれていて非常に助かっております。
- 国家資格取得についての教育は大変だと思いますが、常に積極的に取り組んでいただき、資格取得者数も年々増えてきている状況に非常に嬉しく思います。ありがとうございます。
- AI エンジニアコースの展開について、当初 AI は2年間で勉強できるものなのかと思っておりました。やはり AI はモデル作成だけではなくて、物

を作るにはアプリケーションを作らないといけないので、そのアプリケーションの知識も学ばないと、成果としては表れないのではないかと思っていました。しかし、実際の授業の中では、皆さん素晴らしく作り上げてきているので、当社の社員も結構驚き、最初の考えは変わりました。

- 当社の関係企業で、アルスコンピュータ専門学校を紹介して欲しいという願いがあり、当社としては、どこで、どのようにアピールすれば良いか、アイデアを共有していただきたいと思います。実際、大学との研究活動のように、専門学校とも一緒に勉強出来て成果ができれば、実際の営業活動でもアピールできると思っています。他にもアピールの方法があれば教えていただきたいと思います。
- (学校側) 本校の PR にご協力いただきたいことについてですが、先ほど本校の事例でも挙げさせていただいたとおり、我々の内部の教育だけではなかなか完結しないところがありまして、企業様と産学連携授業をすることによって、学生の教育成果も向上致します。このような取り組みを本校が PR させていただくことによって、本当に実践的な教育をしている学校という信頼を積み上げていくことができると思っています。
- 学校の運営に力を入れて、考えてやっていたらと実感しています。3名の卒業生を迎え入れて、とても優秀でミスマッチが無く、一緒に仕事をしてもらっているのも、是非チャンスがあれば、私の知り合いにも紹介したいと思っています。

#### 基準5. 学生支援

- コロナ禍において、リモートでの業務やリモート教育によりメンタル不調が起きてしまっているケースがあります。当社ですと、若くして一人暮らししていることや、仕事以外での相談ができないなどの状況があった為、若手のメンバーには極力現場に直接出てきて業務をするよう勧めております。先程の報告の中でも、面接指導など Teams を使って行なうとありましたが、リモート勤務というものが、今後 IT 業界の中ではより進んでいくと思います。そういった状況の中で、メンタル不調の部分についての取り組みなどがありましたら、教えていただきたいと思います。
- (学校側) 本校では入学後、校長（公認心理士資格あり）による全員面談を実施しています。面談を通じ一人ひとりの個性や傾向を把握し、担任とも共有しています。この取り組みは15年以上続けていますので、学生の価値観や考え方が多様化しているという印象も持っています。昔のようにただ厳しく指導すればよいという事ではなく、本人の特性なども考慮しながら、一人ひとりの壁を乗り越えさせてあげるといった意識が大切だと思っています。

- (議長) 今、校長先生のおっしゃったことは、それはこちらの学校の問題ではなくて、今の若者全体の課題の様にも思いますけれども、そんな状況の中で、その問題を企業さんの方も考慮いただかなければならないのが現状なのかもしれません。

#### 基準6. 教育環境

- プログラミング学習環境として、ゲーミングノートPCを29台もリプレイスしたのはとても衝撃です。当社ではそこまでリプレイスしていなかったので、入社される卒業生にがっかりされないよう、当社としても、次のPCリプレイスのタイミングで、少し良いスペックのものを備えないといけないと思っています。

#### 基準7. 学生募集と受入れ

- AIシステム科の学生募集について、情報提供を強化する事で対応されると思いますが、その点をお伺いできればと思います。
- (学校側) 一般にAIやデータサイエンスの分野は難しい領域で、学修に4年間かかるのではないかと、大学の方が良いのではないかとというイメージがあるようです。ただ、当学科の卒業生が、委員の企業様にお世話になっており、大変良い評価いただいている事から、本校の2年課程で十分にAI分野を教育できると思っています。しかし高校生のニーズはそういう状況にありますので、大学併修という形で4年間、今のAIシステム科の内容をそのまま引き継ぎながら、大学のデータサイエンス、経営、あるいはビジネスといった知識を融合させ、ビジネスとAIとIT、さらに国家資格、これらを融合して4年間の学科として作り上げようとしています。そうすることで、高校生、また高校側から、4年間で大学卒業とAIの仕組みと資格がしっかり取れるといった期待にしっかりと答えられると考えています。

#### 基準8. 財務

- 経営状態もいつもながら非常に良いということで、素晴らしいと思っています。

#### 基準9. 法令等の遵守

- 特になし

#### 基準10. 社会貢献・地域貢献

- 熊谷市が進めているスマートシティ関連の事業で『熊谷コミュニティラボ』

というものがある。市民等の多様な交流によりアイデアの創出を目指すものであり、この様な場に学生さんが参加してくれると良いのではないか。

- 留学生が増えているということですが、私共も採用活動している中で、年々外国人材の採用を考えていかなければいけない状況です。その中で留学生の人数が増えていることは、今のこういった世の中にとって非常に良い選択になっているのではないかと感じています。

#### 【学校関係者評価委員会総括】

自己点検評価項目を見ると概ね良好となっており、改善が必要となっている部分については引き続き改善に努めてほしい。学校関係者評価委員会として、令和5年度自己点検評価報告書の内容について確認及び承認を行いました。

以 上

#### 【学校関係者評価委員会からのご意見を受けて】

委員の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、地域に根差した専門学校として使命感をもって教育活動をすすめてまいります。

今後も引き続き、学修成果の可視化、計画的な指導を行い、学生支援についても学生・父母等との連携を更に強化し、継続的な取り組みを行っていきたいと思います。